

BUTSURYO SHINBUN

NO.16

発行所：大阪物療大学
発行者：田中 博司
発行年月：平成31年1月
編集：広報委員会
※無断転載を禁じます。

診療放射線技師 養成



- 学長挨拶
- 2018年度オープンキャンパス
- 専門基礎科目実験・学内実習
- 近畿地区学生体育大会
- 第1種放射線取扱主任者試験合格者の声
- 臨床実習を経験して
- 第16回市民公開講座
- 卒業研究ポスター発表
- 物療祭
- 推薦前期入試結果、一般入試概要
- 2019年度オープンキャンパス、フリーキャンパス

〈建学の精神〉
之科學為報國修

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

学長の田中博司です。

四年次生は最後の追い込み中、

どの学生の顔も自信に満ちあふれて輝いてみえます。

その姿を後輩たちが尊敬の念で眺めています。

学生たち全員のレベルアップが徐々に

浸透しているようです。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。



大阪物療大学 学長
田中 博司



2018 年度オープンキャンパス



大阪物療大学では、4月22日(日)、5月13日(日)、6月3日(日)、7月15日(日)、8月19日(日)の日程で、2018年度オープンキャンパスを計5回開催、200名を超える方々にご参加いただきました。

普段なかなか間近で見ることのないCT装置やMRI装置に実際に触れることができる「実習体験」のブースは特に人気が高く、参加者の方々も興味深そうに学生スタッフからの説明を聞いておられました。一方、「在学生との団らん会」では、参加者の方々と学生スタッフが大学生活・日々の講義についてや、入試に向けての勉強法など様々な話題で盛り上がっていました。

また、会場には「実習体験」「在学生との団らん会」「個別相談」「施設案内」「基礎科目実験」等のブースに加え、複数回ご参加された際にもご満足いただけるよう、毎回違ったブースをご用意しておりました。

8月には、毎年恒例となっている各部活動による屋台や、軽音楽部によるライブ演奏が行われ、まさしく「夏祭り！屋台も楽しもう！」というテーマのもと、活気に溢れたオープンキャンパスとなりました。

診療放射線技師という職業、そして大阪物療大学の魅力をより体感して頂けるようなイベントを目指して、スタッフ一同、来年度も精一杯おもてなしさせていただきます。





専門基礎科目実験・学内実習



実験を通して
知識・態度・技術を
総合的に習得します！

1年次後期の専門基礎科目実験は、学生が本学で初めて取り組む実験科目で、実験の進め方やレポートのまとめ方を学びます。担当教員が特に理解してほしい内容が実験テーマとなるほか、心電図やバイタルサイン測定をはじめとした臨床検査に関する内容も含まれています。

2年次前期から始まる放射線技術学実習では、X線を発生させる装置を初めて操作します。X線TV装置や乳がん検査用X線撮影装置など、実際の臨床現場で扱う装置を操作しながら、X線を使った検査における注意点を学びます。

2年次後期では、臨床現場で業務に携わっておられる技師の先生をお招きし、一般X線撮影・上部消化管造影・X線CT撮影・腹部超音波撮影の4つのテーマについて、臨床実習に近い形で学内実習が行われます。

3年次前期には、X線CTやMRIなどの装置を用いた実習を行うとともに、病院で業務に携わる際に必要となる、車いすでの患者移動や寝台への移乗動作、患者対応についての実習が行われます。



近畿地区学生体育大会



平成30年10月3日(水)、第58回近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会が、大阪ガス今津総合グラウンドで開催されました。

今年は9月に台風21号、24号が立て続けに近畿地方に上陸したこともあり、天候が危ぶまれましたが、幸いなことに当日は朝からよく晴れ、スポーツ日和の一日となりました。

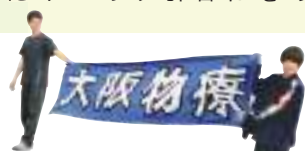
白熱した戦いが期待される中、本学の学生もはやる気持ちを前面に出し、高ぶった表情で各種目や応援に力を注いでいました。

ソフトボールがいきなりの優勝と幸先のよいスタートを切ることができ、総合2位につけていた本学ですが、総合1位との点差は大きく、綱引き、リレーの両種目で優勝する以外に総合優勝への道はありませんでした。

綱引きの準決勝では総合1位の学校に競り勝ち、学生だけでなく、教職員の期待も膨らみましたが、決勝戦の結果は惜敗。その後、最も大きな声援が送られた最終種目のリレーも残念ながら2位でゴールし、最終結果は総合準優勝でした。

悔しい気持ちもありますが、学生たちは十分力を発揮できた様子が、充実感いっぱいの笑顔で溢れていました。学内とは違った様々な表情、躍動感に感動しつつ、「来年こそは勝ちます」という学生の宣言通り、来年こそ悲願の総合優勝に向けて益々奮闘してくれることを期待します。

来年こそ、悲願の
総合優勝を目指して・・・!



合格
おめでとう

昨年度に引き続き、本学より2名の合格者が出ました！
おめでとうございます！！



第1種放射線取扱主任者試験 合格者の声

全国合格率
23.7%



増井 佑也くん
奈良県立
高田高等学校 出身



伊本 浩基くん
大阪府立
高津高等学校 出身

おめでとうございます！

- ◎合格のきっかけは？
増井くん…目標を達成できて嬉しいです！
伊本くん…ありがとうございます！最後の最後までサポート、応援してくださった先生方に感謝しています。
- ◎資格を取得しようと思った理由は？
増井くん…就職活動、そして就職後も役立つと思ったからです。
伊本くん…勉強する習慣を忘れない為です。高い目標を立て、その大きな壁を乗り越えるために勉強することは、これから先も必要なことだと思っています。
- ◎どんなことに苦労しましたか？
増井くん…物理と化学がとても難しいので、理解するのに苦労しました。
伊本くん…勉強時間を作ることです。特に直前には定期テストもあり、そちらにかける時間との配分が合否を分けたと思います。
- ◎効果的だった勉強方法は？
増井くん…先生方から頂いたためプリントを理解すること、過去問を解くことです。
伊本くん…キリが悪くても時間が来たら休憩することです。決めたリズムで勉強することで集中力が持続し、質のいい勉強ができます。
- ◎最後に今後の課題を教えてください。
増井くん…講習を受けて免許を取る予定です。
伊本くん…講習会で免許を貰えるよう、試験で捨て問題にしたものを理解することです。

臨床実習を経験して…

- ◎実習ではどんなことをしていますか？
吉川くん…各モダリティ（※）の見学および患者対応などをさせて頂いています。（※…医用画像機器の総称）
阿部さん…期間ごとに各モダリティを周り、一般撮影では患者対応から画像処理まで、他では移乗やセッティングの補助をさせて頂いています。
- ◎実習に行く前に抱っていたイメージとのギャップはありますか？
吉川くん…実習前は、緊張感がある現場だと思っていましたが、実際は皆さん優しく、和気藹々とした現場でした。
- ◎学内の授業が役に立っていましたか？
山内くん…画像解剖学です。授業で学んだ単語がよく出てくるので、技師の方からの説明がスムーズに理解することができました。



阿部 愛海さん
広島県立
廿日市西高等学校 出身

吉川 武志くん
奈良県立
平城高等学校 出身

山内 裕登くん
大阪府立
大阪市立高等学校 出身

3年次生の3名に
貴重なお話を伺いました！



- ◎「1年や2年くらいで学んでから実習に行くべきだ」と思っている点はありませんか？
山内くん…X線撮影技術学の教科書に記載されている一般撮影法を熟知しておけば、実習先の撮影方法がどう違うのか、理解しやすいかと思えます。
- ◎吉川くん…現場では略語を使うことの方が多く、もう少し学んでおけばよかったと思いました。
- ◎後輩の皆さんへアドバイス
山内くん…今学んでいる内容を全て覚えておくのは難しいと思いますが、授業で学ぶ内容は臨床実習に直結していることがほとんどです。「授業を大切に受けること」が実りある臨床実習への近道です！
吉川くん…臨床現場で仕事をする上で、技師同士や他の医療従事者、患者様とのコミュニケーションが大切になります。今のうちに様々な人と関わりを持ち、コミュニケーション能力を身につけてほしいです！
阿部さん…試験に出る内容はもちろん、先生方が普段の授業の中で雑談として話した言葉が、臨床現場でも役に立つことがあるので、聞き逃さないようにしてください◎
- ◎今後の課題は？
阿部さん…座学で学び、実習で理解を深めたところをしっかりと定着させ、またどの患者さんにも伝わる話し方ができるように、コミュニケーション能力を身につけていきたいです。





第16回市民公開講座



社会福祉法人みささぎ会 高齢者ケアセンター
「大仙もずの音」 吉田 啓太 施設長

平成30年10月27日(土)に物療祭の催しの一つとして、堺市後援のもと、第16回市民公開講座を本学4号館アリーナにて開催しました。今回は「必見! 特養サビスと施設選びのポイント」と題して、社会福祉法人みささぎ会高齢者ケアセンター「大仙もずの音」の吉田啓太施設長に講演をしていただきました。

特別養護老人施設(以下: 特養)は年に200カ所のペースで増加し、現在日本には7,891カ所の特養があります。

吉田施設長からは、現在、もしくは近い将来に誰しもが考えるを得ないであろう特養の選び方について、「人、物、サービス」から見るポイントを教えていただきました。

また「大仙もずの音」で実践されている「褥瘡ゼロ、エプロンゼ口プレタミナル期における自己実現の実施」といった、尊敬ある取り組みの実例を写真で紹介していただきました。

次回開催

5/19
(日)

今まで、特養という「寝たきり高齢者」という暗いイメージがありましたが、実に生き生きと泊旅行や歌舞伎を楽しむ入所者様の笑顔がとても印象的でした。また、それを実現するために、社会福祉士さんや介護福祉士さんがどれだけ多くご尽力されているかを伺い知ることができました。

2025年には、4人に1人が75歳以上になる超高齢者社会が日本に到来します。この講演を通して身近に「大仙もずの音」のような介護施設があることを大変心強く感じる事ができました。今後も地域の皆様に関心を持っていらつしやるテーマを選び、充実した公開講座を開催したいと考えています。



卒業研究ポスター発表

4年次生の皆さん、研究から発表までお疲れ様でした!



本学では、3年次の後期から4年次の前期にかけて卒業研究が行われます。本年度は、全部で5つの研究領域があり、各領域3〜4名の教員の指導のもと、研究活動を行いました。

そして、集大成としてのポスター研究発表会が9月から10月にかけて、3回に分けて実施され、放射線医療技術などに関する研究を中心に、計34件の研究成果が披露されました。

まず、9月19日(水)には、臨床実習を控えた3年次生と教員を対象としたセッションを、次いで9月28日(金)には、1,2年次生と教員を対象としたセッションを実施しました。そして、10月27日(土)の物療祭では、卒業生や一般来学者の方々に、本学4年次生の研究活動を知っていただくことを目的としたポスター展示を行いました。

ポスター研究発表会では、4年次生自ら作成したポスターの前で来場者と対面し、時間をかけて研究内容に関する質疑応答を行います。様々な研究分野の専門家である教員からの質問に対しては、その内容を理解し的確に答えることが要求されるため、学生にとって大変有意義な経験を積むことができます。また、その一方で、3年次以下の在学生や一般来学者に対しては、よりわかりやすく研究内容を説明する必要があるとあります。質疑応答を通じて、先輩・後輩間の交流を行うこともできたのではないのでしょうか。

11月1日(木)には、研究発表に対する全教員の評価のもとに、学長賞、学科長賞各1件の他、ポスター賞3件の優秀な研究発表が選出され、表彰が行われました。





第7回物療祭 「NO RADIOLOGY NO LIFE!」

楽しさいっぱい!



平成30年10月26日(金)、27日(土)の2日間、第7回物療祭を『NO RADIOLOGY NO LIFE!』という本学に相応しいテーマのもと、本学4号館で盛大に開催しました。

名物の模擬店は7店(たません、わたがし、ポテト、ポップコーン、焼き鳥、ジュース、スーパーボールすくい)が出店。どのお店も「リーズナブル」「美味しい」と参加者の方から好評でした。

アリーナではこの2日間を通してたくさんイベントが開催され



ました。初日の軽音楽部や教員有志等4バンドによる演奏は大いに盛り上がり、なかでも、学生と教員の有志による物療VSOバンドは、超絶ギターに美しい歌声で皆を熱狂の渦に巻き込みました。続いてのコスプレ大会では、ハロウィンの季節がら、華やかな仮装大会となりました。女装・男装部門では2年生の中嶋駿太くん、福西翔子さんが会場を魅了し、艶やか4年生生コンジの福山出流くん・亀井杏星くんとともに優勝を飾りました。



2日目には第16回市民公開講座が開催され、社会福祉法人みささぎ会の吉田啓太施設長にご講演いただきました。多くの市民の方が参加され、終了後も熱心な質疑応答があり、関心の高さがうかがえました。

また、市民の皆様にはO×ゲームやジェスチャーゲームで盛り上がり、いただいた、本学の保護者会である育友会によるフリーマーケットにもたくさん足をお運びいただきました。

こうしたイベントの一方、4階教室では4年次生の学業集大成「卒業研究」ポスターの展示があり、今年の学長賞には、築田凌くんと亀井杏星くんの「造影CTにおける温度変化によるCT値の変動と最大CT値到達時間について」が選ばれました。

毎年恒例の、豪華景品がもらえるビンゴ大会で無事幕を下ろした物療祭。学生自治会会長以下自治会メンバー、企画から準備、運営と大変お疲れ様でした。



2019年度 推薦前期入試志願者数・受験者数・合格者数

選考区分	募集定員(A)	志願者数		受験者数		合格者数		志願倍率	受験倍率	合格倍率
		総数(B)	男 女	総数(C)	男 女	総数(D)	男 女	(B/A)	(C/A)	(C/D)
推薦前期	30	56	42	53	41	35	26	1.9	1.8	1.5
			14		12		9			

2019年度 一般入試(前期・中期・後期) 概要

選考区分	試験日	出願期間(16:00 郵送必着)	合格発表	入金期限	手続期限
一般入試(前期)	1/27(日)	1/7(月)～1/24(木)	1/30(水)	3/6(水)	3/7(木)
一般入試(中期)	2/17(日)	2/4(月)～2/14(木)	2/20(水)	3/13(水)	3/14(木)
一般入試(後期)	3/16(土)	2/25(月)～3/14(木)	3/16(土)	3/22(金)	3/25(月)

募集人員		一般前期入試：30名 一般中期入試：10名 一般後期入試：若干名
試験の内容	一般入試(前期)	・数学Ⅰ・Ⅱ ・全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。
	一般入試(中期)	・数学Ⅰ・英語・生物基礎いずれか1科目を選択 ・全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。
	一般入試(後期)	・小論文 ・全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。

2019年度オープンキャンパス日程 全5回、診療放射線技師の魅力をお伝えします! /

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
4/21 (日)	5/12 (日)	6/2 (日)	7/14 (日)	8/25 (日)

**平日
夕方** **フリーキャンパスへ参加してみよう!**
事前予約はHPまたはお電話にて。

☎：大阪物療大学
渉外係

072-260-0095